

新宿区の帰宅困難者対策について

～ 駅周辺の滞留者対策 ～

新宿区

平成19年3月26日

新宿駅周辺だけで約16万人の滞留者

徒歩帰宅可能 約7万人

徒歩帰宅困難 約9万人

徒歩帰宅する者と留まる者で
駅前は大混乱・・・

新宿区全体の帰宅困難者 約35万人



冬の夕方の新宿駅南口周辺

東京マラソンにみる滞留者対策の課題

平成19年2月18日
参加者約3万人

駅前滞留者として観察



スタート時の様子

東京マラソンにみる滞留者対策の課題

靖国通りの様子(スタート地点から1.5km付近 新宿区役所前)



片側4車線 新宿駅方面を望む



先頭と最後尾の差 約4km

東京マラソンにみる滞留者対策の課題



拡声器付の案内表示塔



仮設トイレ前の行列

東京マラソンにみる滞留者対策の課題

見えてきたこと

- ・留まってもらうこと
- ・屋根付の滞留場所確保
- ・情報伝達の方法
- ・避難誘導のしくみづくり
- ・訓練の必要性



駅前滞留者対策訓練(仮称)の実施

平成19年度実施予定

- ・鉄道事業者
- ・地元事業所
- ・新宿区、東京都



新宿駅周辺

新宿区帰宅困難者対策推進協議会

平成14年2月発足

これまでの取組み

- ・帰宅困難者の現状把握
- ・啓発パンフレットの作成
- ・検証訓練の実施
- ・最終報告書の検討

19年度に規模を拡大

- ・滞留者対策訓練の母体
- ・対策の推進



情報提供のしくみづくり

携帯電話や大型ビジョンなど
普及している既存ツールの活用

- ・携帯電話の輻輳問題
- ・非常用電源の確保



一時休息場所・情報提供場所の確保

ターミナル駅周辺での 滞留場所確保

大規模開発等の機会に確保
既存駅前広場の整備・活用



新宿駅南口基盤整備事業

一時休息場所・情報提供場所の確保

耐震性の高い地下街の活用

風雨を凌げる場所

約8万 m^2 のスペース

* 通路、コンコース、駐車場の合計

案内表示の工夫
照明・空調の継続
パニック防止

